

Pete10

利用マニュアル

2020年5月

アイデア・フロント株式会社

Pete10 利用マニュアル 目次

はじめに	2
1. Peteのインストール	3
2. Peteの基本操作	4
2-1 Peteの起動とメインメニュー	4
2-2 Peteでパソコンを操作する	5
2-3 アプリケーションの操作	6
2-4 Peteで文字を入力する	8
2-5 文字入力のしかた(単語予測入力)	9
5. オートスキャンでの操作	10
6. マニュアルスキャン(マルチスイッチ)での操作	12
7. Peteブラウザ	14
8. Peteトレイ	16
9. Peteに関する問い合わせ	17

はじめに

- Peteは、キーボードやマウスの操作が困難な肢体不自由者のPC利用をサポートする障害者支援ソフトウェアです。Peteは、次のような特徴を持っています。
 - 表示位置や大きさを調整できるオンスクリーンキーボードで、パソコンのほぼすべての操作を行うことができます。
 - 単語予測機能、操作予測機能により、少ない操作数でパソコンのさまざまな操作ができ、利用者の操作負担を軽くします。
 - マウスポインタによる操作、オートスキャンによる操作など、利用者の体の状態に合わせた多様な操作方式を選べます。
- Pete10は、Windows10に対応したPeteで、2020年5月から正式提供を開始しました。次のような新しい機能を備えています。
 - 従来のデスクトップアプリに加えて、Windows10オリジナルの「ストアアプリ」の操作や入力ができるようになりました。(例:Edge、フォトなど)
 - 新たに、Peteからマウスポインタの移動やクリック操作ができる機能を標準装備しました。
- Pete10は、以下のもので構成されています。このマニュアルでは、これらの基本的な使い方を順に説明します。

Pete(ピート)・・・

肢体不自由者のPC操作や文字入力を支援する、多機能なオンスクリーン・キーボード・ソフトです。文字入力だけでなく、PC操作の様々なキーボードがあり、これらをシーンごとに切り替えながら使います。

Peteトレイ・・・

Pete10で新たに追加した常駐型ソフトで、Peteからストアアプリへの操作・入力やWindows10のメニューの操作をできるようにするためのものです。Peteを使う時は、常にPeteトレイも起動しておいてください。

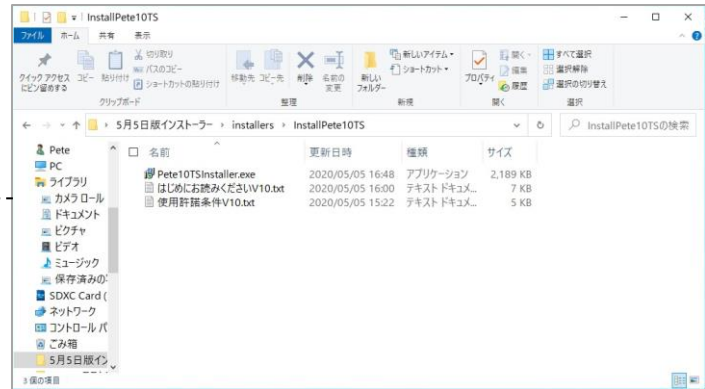
Peteブラウザ・・・

Peteに付属している専用ブラウザで、肢体不自由者にとって便利な機能を提供するウェブブラウザです。画面左側に専用のメニューがあり、ここに各ページのリンク一覧などを表示して、操作をやすくしています。

1. Peteのインストール

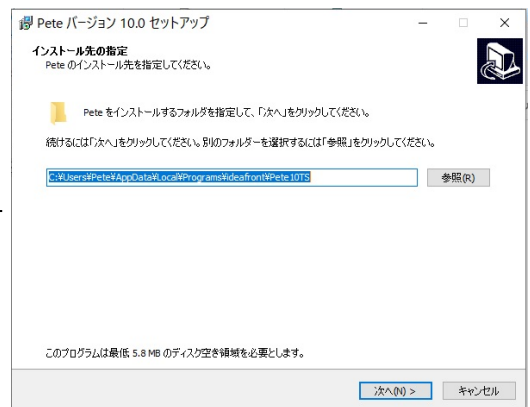
- ダウンロードしたPete10はインストーラーになっています。以下の手順でご利用のパソコンにインストールしてください。

① ダウンロードしたファイルは圧縮されています。ダブルクリックすると解凍でき、同じ名前のフォルダが生成されます。

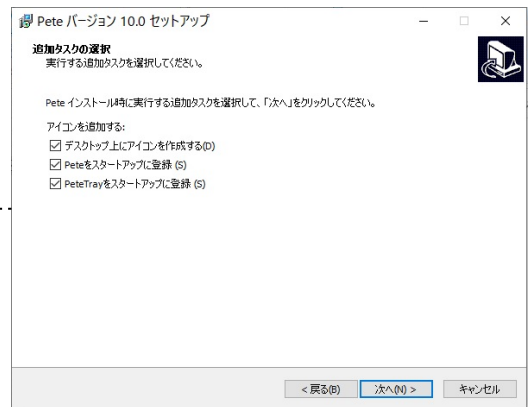


② 生成したフォルダを開くと、Pete10xxInstaller.exe (xxはTM、TK、TSのいずれか。以下同様の表記をします。)というプログラムファイルがありますので、ダブルクリックしてください。

③ インストールする場所を確認するウィンドウが開きます。通常はこのまま「次へ」をクリックしてください。

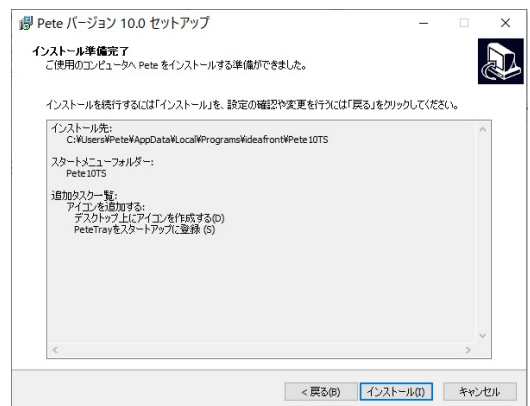


④ 次に、スタートメニューへの登録を確認するウィンドウが開きます。このまま「次へ」をクリックしてください。



⑤ デスクトップアイコンの作成、スタートアップへの登録を確認するウィンドウが開きます。希望する項目にチェックを入れて「次へ」をクリックしてください。

⑥ 設定を確認するウィンドウが開きます。「インストール」をクリックするとPete10のインストールが行われます。

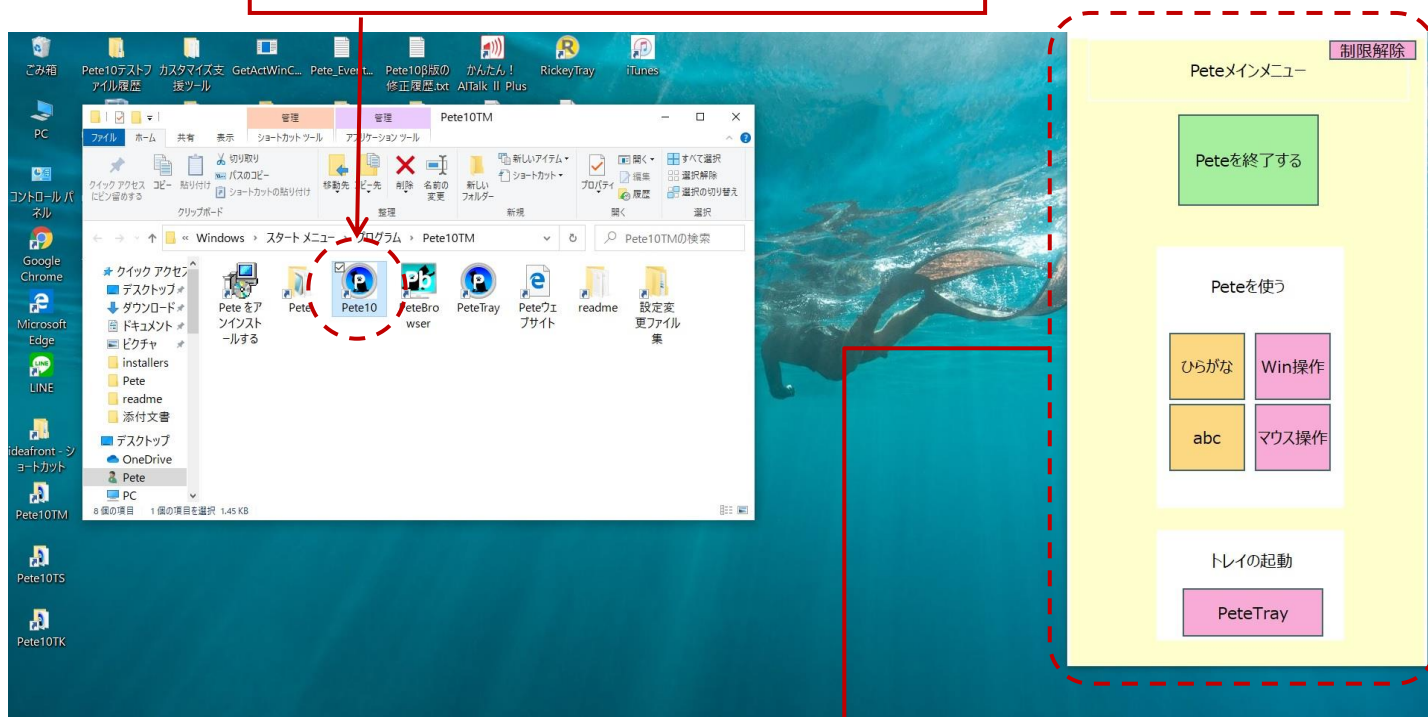


2. Peteの基本操作

2-1 Peteの起動とメインメニュー

- デスクトップに生成した「Pete10xx」のショートカットをダブルクリックするとフォルダが開きます。その中にある「Pete10」アイコンをダブルクリックするとPeteが起動します。
- Peteコミュニケーションエイドが起動すると、ディスプレイ右側にPeteのメインメニュー画面が表示されます。
- Peteトレイをスタートアップに登録していない場合は、メインメニューにある「Peteトレイ」を選択して起動してください。

① 「Pete10」をダブルクリックするとPeteが起動します。



② Pete10のメインメニューが表示されます。

- 「Win操作」 …… パソコン操作をするためのキーボードを表示します。
- 「ひらがな」 …… 日本語を入力するためのひらがなキーボードを表示します。
- 「マウス操作」 …… オートスキャン等で利用する時、Peteからマウスポインタを操作します。
- 「abc」 …… アルファベット入力用のキーボードを表示します。
- 「PeteTray」 …… ストアアプリ等の操作を行うための常駐ソフト「Peteトレイ」を起動します。

※Peteトレイを起動しておかないと、Windows10のスタートメニューの操作やEdgeの操作・文字入力などができなくなりますので、Peteを利用する時は常に起動しておくようにしてください。

2. Peteの基本操作

2-2 Peteでパソコンを操作する

- メインメニューの「Win操作」キーを選択すると、Peteの表示がWin操作キーボードに切り替わります。Win操作キーボードには、ウィンドウズやアプリケーションソフトの操作を行うためのキーが並んでいます。
- キーボード右上の操作予測エリアには、ここで操作する可能性が高い操作メニューが順に表示されています。表示しているメニューを選択して操作することもできます。

WIN操作キーボード

複数のウィンドウを開いている時、利用するウィンドウを切り替えます。

操作予測エリア

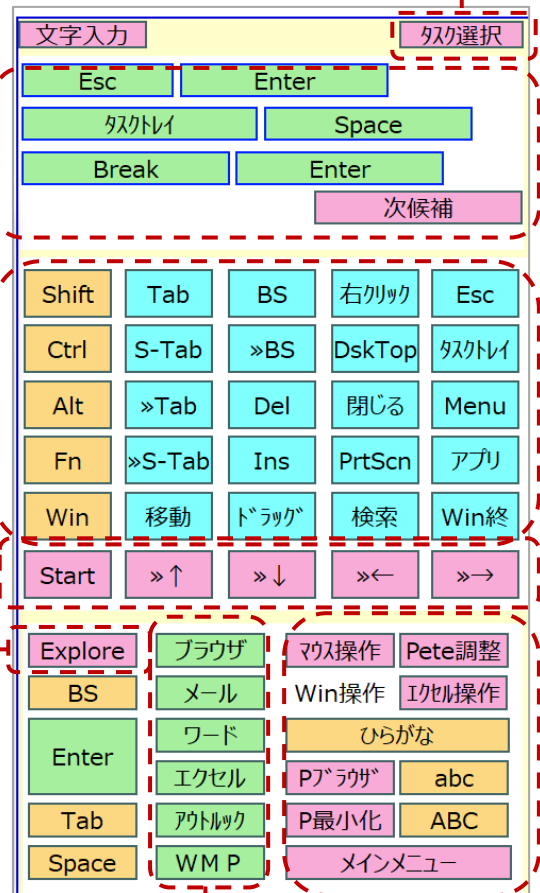
次に行う可能性が高い操作メニューを表示します。

パソコンやアプリケーションの操作を行うためのキーです。

- 「Shift」「Ctrl」「Alt」…… 選択すると、各キーをロックした状態になります。これらを使って、キーボードショートカット操作(例えば「Ctrl」+「S」など)ができます。
- 「S-Tab」 …… 「Shift」+「Tab」が入力されます。
- 「Fn」 …… ファンクションキーを選択するためのキーボードを表示します。
- 「Start」 …… ウィンドウズのスタートメニューを表示します。
- 「Dsktop」 …… 開いているウィンドウをすべて最小化し、デスクトップを表示します。
- 「タスクトレイ」 …… タスクトレイにフォーカスを移動します。
- 「MENU」 …… 開いているウィンドウのメニュー、リボンにフォーカスを移動します。
- 「閉じる」 …… 利用しているウィンドウやアプリケーションを閉じます。

パソコンのカーソルやフォーカスを上下左右に移動します。

「PC」フォルダを開きます。



各種アプリケーションを起動します。

キーボードの切り替えなどを行います。

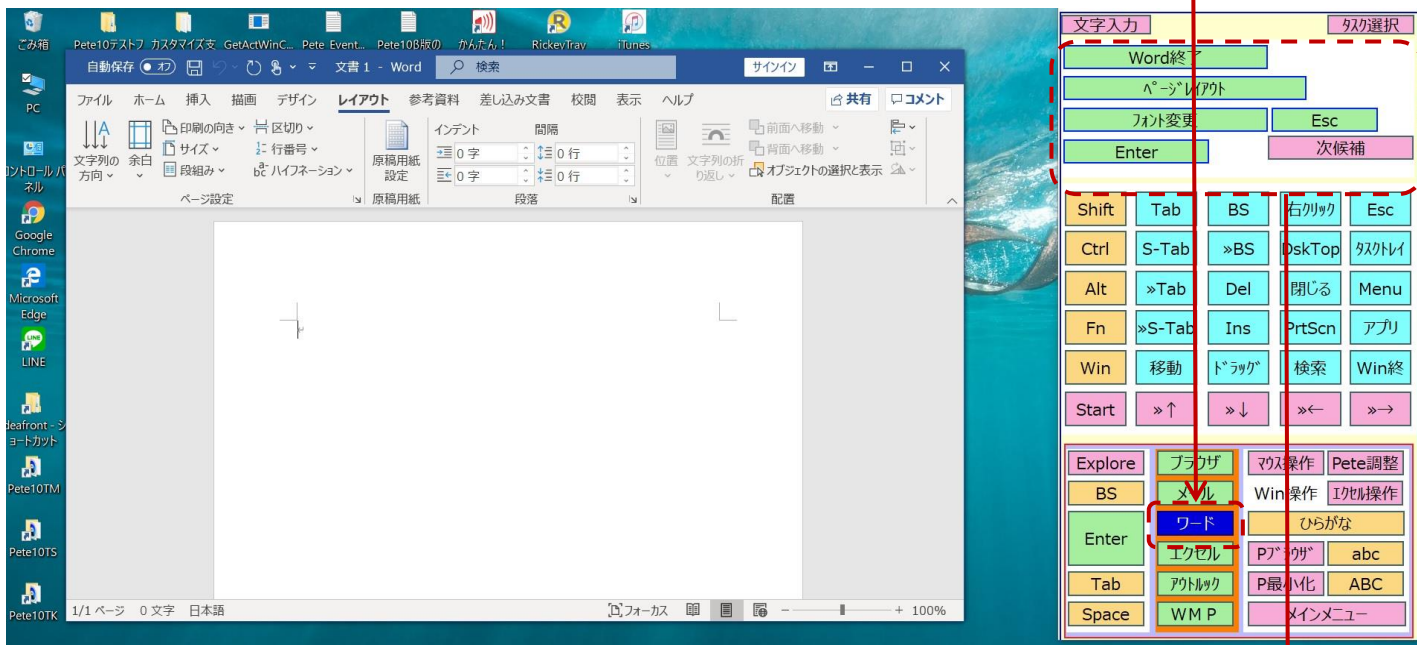
2. Peteの基本操作

2-3 アプリケーションの操作(1)

- Win操作キーボードの左側に並んでいる「ブラウザ」、「メール」、「ワード」などのキーを選択すると、それぞれのアプリケーションが起動します。
- アプリケーションが起動すると、Peteの操作予測エリアには、起動したアプリケーションの操作メニューが表示されるようになります。ウィンドウズ操作と同じく、次に行う可能性が高い操作から順に表示します。

アプリケーションの操作方法

- ① 「ワード」キーを選択すると、MSワードが起動します。
(ご利用のパソコンにワードがインストールされている必要があります。)



- ② 操作予測エリアに、MSワードの操作メニューが表示されます。
ここに表示されるメニューを選択して、MSワードを操作することができます。操作すると、都度、表示されるメニューが変わります。

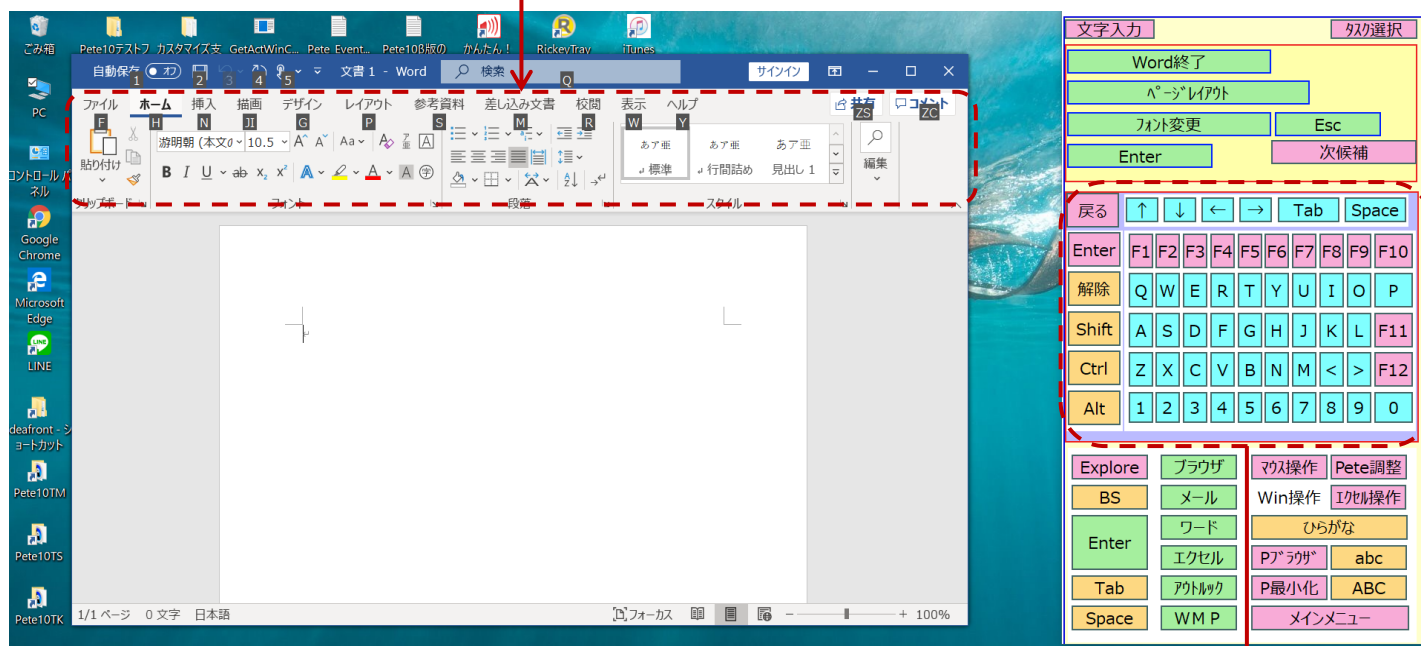
2. Peteの基本操作

2-3 アプリケーションの操作(2)

- 希望する操作が操作予測エリアに出てこない時は、「Menu」キーを選択すると、アプリケーションのメニューやリボンを操作できます。
- Pete画面に表示される方向キーを使って、リボンなどの中にある、希望する操作メニューを選択することができます。

リボンの操作方法

- ① 前ページの画面で「MENU」キーを選択すると、MSワードのリボンにフォーカスがり、ショートカットキーが表示されます。



- ② Peteが表示する方向キーや英字キーボードを使って、リボンやメニューを操作します。
 - 方向キーと「Enter」キーを使って、リボンやプルダウンメニューの中を移動し、希望のメニューを選択します。
 - アルファベットキー等を選択すると、アプリケーション側に表示されているショートカットを使った操作ができます。
 - リボン、メニューの操作を中止したい時は、「戻る」キーを選択します。

2. Peteの基本操作

2-4 Peteで文字を入力する

- メインメニューで「ひらがな」を選択すると、文字入力用(ひらがな)キーボードを表示します。(シェアウェア版Peteでは、起動直後にひらがなキーボードが表示されます。)
- ひらがなキーボードには、五十音キーのほか、キーボードを切り替えるためのキーなどがあります。「abc」キーを選ぶと、アルファベット入力用キーボードに切り替わります。

ひらがなキーボード

次に入力する単語の候補を表示します。

(単語予測表示エリア)

ひらがなキー

五十音のひらがなキーです。入力したい言葉のよみがなをひらがなキーで入力します。

「拡張」キー

各行の「拡張」キーを選択すると、小文字(あ、い、う、つ等)や濁音(が、ざ、ば等)、半濁音(ぱ、ぴ、ぶ等)のキーが表示されます。

IMEのON/OFF切り替えをします。

カーソル移動用キーボードを表示します。



キーボードの切り替えなどを行います。

- 「マウス操作」… マウス操作キーボードを表示します。
- 「単語登録」… 辞書にない言葉などを登録します。
- 「WIN操作」… WIN操作キーボードを表示します。
- 「Pブラウザ」… Peteブラウザを起動します。
- 「P最小化」… Pete画面を最小化表示します。
- 「メインメニュー」…メインメニュー画面に戻ります。

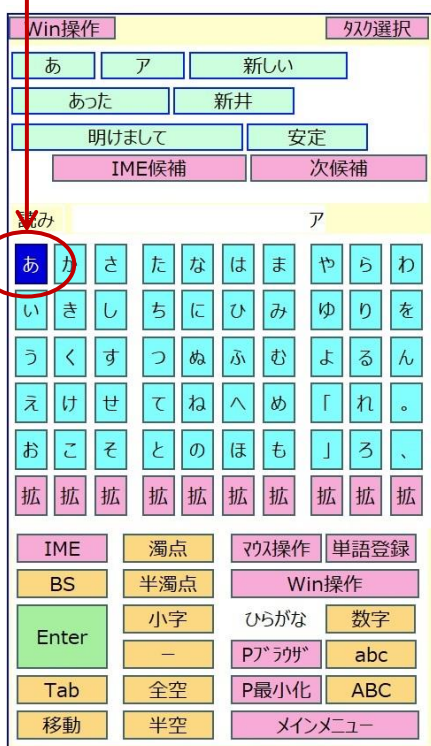
2. Peteの基本操作

2-5 文字入力のしかた(単語予測入力)

- ひらがなキーボードで入力したい言葉の読みがなを選んでいくと、該当する言葉の候補を予測して、キーボード上部の単語予測エリアに表示します。
- 入力したい言葉が出てきたら、その言葉をクリックすると、アプリケーションなどにその言葉が入力されます。

日本語入力の手順

① 「あ」を選ぶと、読みが「あ」で始まる言葉が単語予測エリアに表示されます。

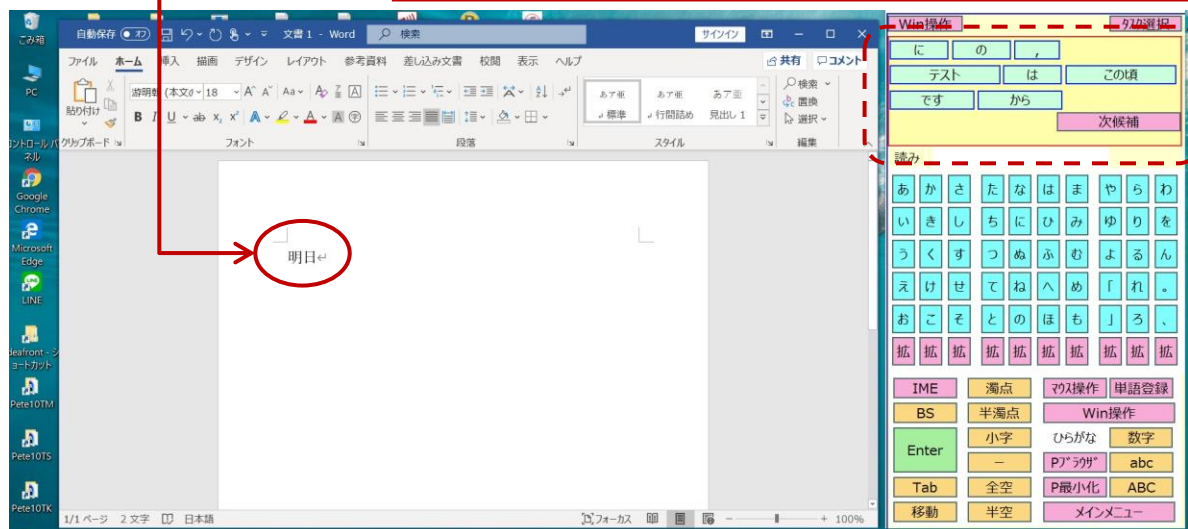


② 次に「し」を選ぶと、読みが「あし」で始まる言葉が単語予測エリアに表示されます。



③ 表示された候補から「明日」を選ぶと、起動しているアプリに「明日」と入力されます。

④ 単語予測エリアには「明日」に続く可能性が高い言葉を表示します。



5. オートスキャンでの操作

5-1 オートスキャン操作の基礎

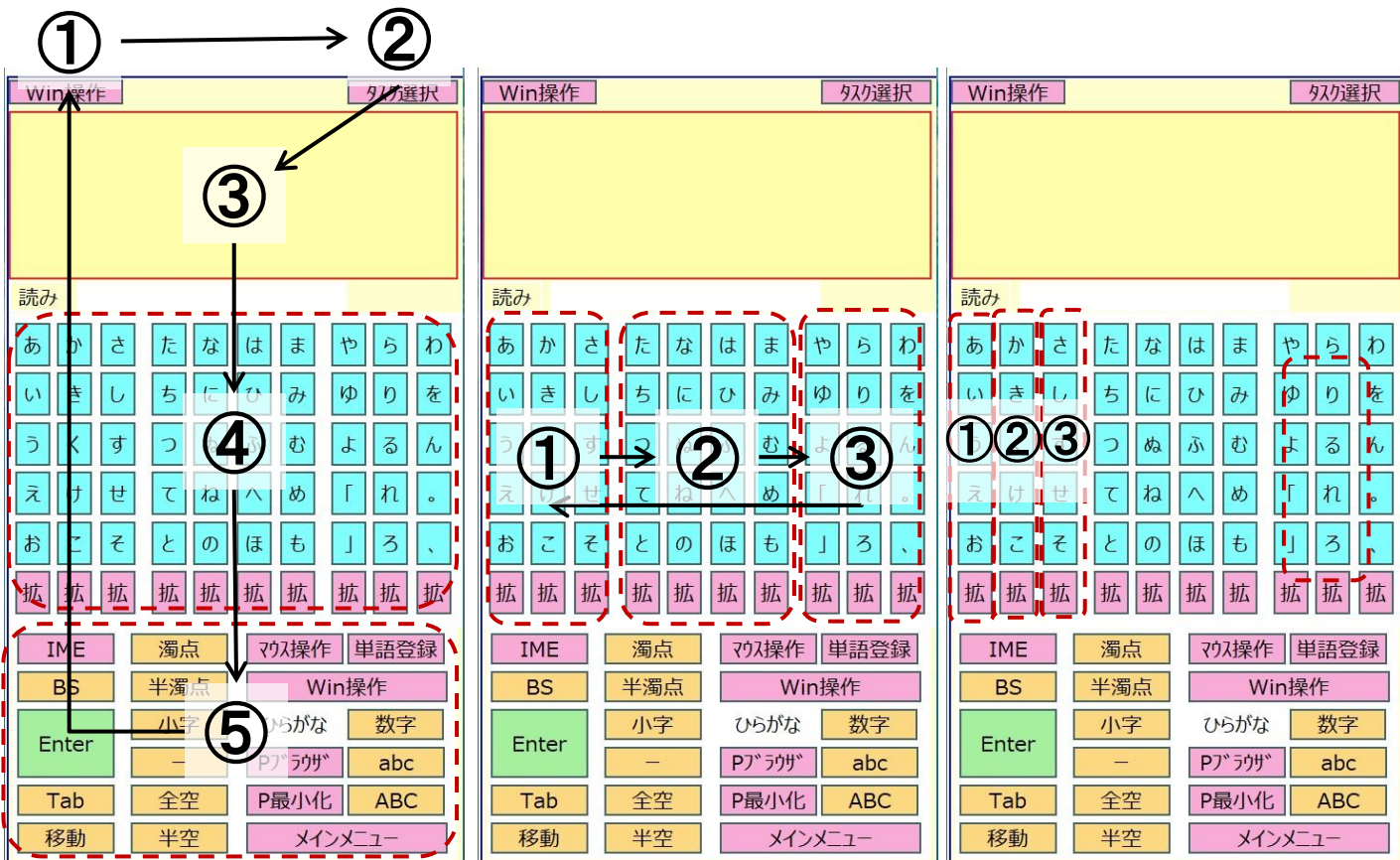
- Peteは、マウスポインタを利用できない(マウスやジョイスティックが操作できない)方が利用できるよう、オートスキャンモードを備えています。(設定方法はP22をご覧ください)
- オートスキャンモードでは、Peteキーボードの選択範囲(フォーカス)が順に自動的に移動し、操作したいキーのところへ来た時に操作スイッチを操作すると、そのキーを含む範囲を選択します。これを何回か繰り返して、ひとつのキーを選択します。

＜ひらがなキーボードでのオートスキャンの例＞

まず①Win操作キー、②タスク選択キー、③単語予測表示エリア、④五十音エリア、⑤機能キーエリアの順にスキャンします。

キーボードエリアを選択すると、その中のゾーンを順にスキャンします。

五十音のゾーンを選択すると、その中の「行」を順にスキャンします。



「あ」行を選ぶと、「あ」「い」「う」「え」「お」「拡張」の順にスキャンします。いずれかの文字を選択すると、よみがなとして確定します。

※ Pete10TSの初期設定では、操作キーは「F3」に設定してあります。

※ オートスキャンが3回まわる間に何も操作しないと、オートスキャンはストップします。その状態で「F3」を操作すると、最初の状態からオートスキャンが再開します。

5. オートスキャンでの操作

5-2 スキャン速度の設定

- スキャン速度を変更したい時は、Win操作画面の「Pete調整」を選び、表示される調整用メニューの「Scan速度」を使って速度を変更します。ただし、ここでの変更は一時的にスピードを上げ下げするためのもので、Peteを一度終了すると、クリアされます。

スキャンスピード変更パネルが表示されるので、スピードを調整します。表示される数字が小さいほど、スキャンのスピードは速くなります。



- もともとのスキャン速度を変更したい時は、Pete.exeと同じフォルダにある、「settings.txt」を編集します。

```
#----- 1.入力方式の基本設定
#
TransDir="trans"
OperationDir="operation"
UrlPredDir="UrlPred"
CandidateMode=0
#ImeMode=1
#OsType=11
PeteBrowserFontBold=True

TimerFlag=True
TimerInterval=8
MultiSwitch=True
HardKeyboardFlag=False
HardKeyboardOpt=False
```

この数字を変更します。数字が小さいほど、スキャンのスピードが速くなります。

6. マニュアルスキャン(マルチスイッチ)での操作

6-1 マニュアルスキャン操作の基礎

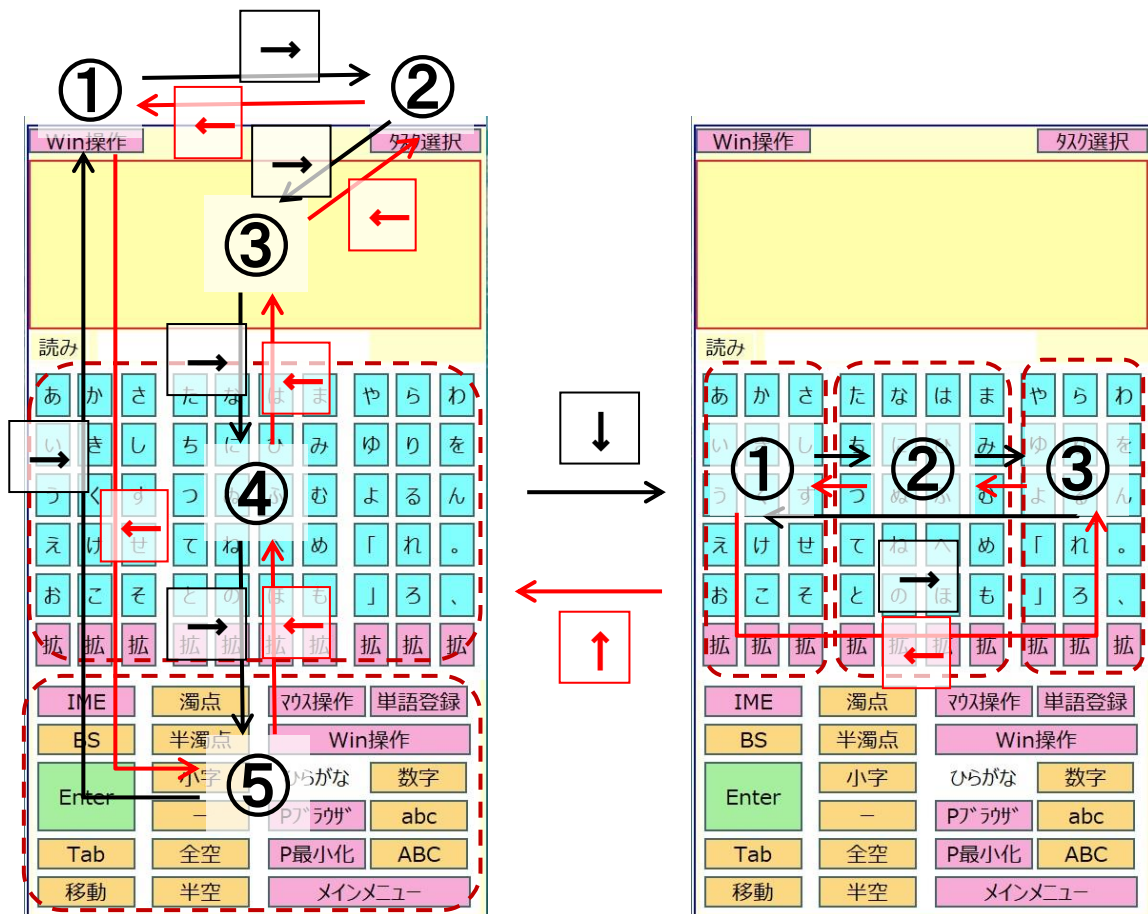
- マニュアルスキャンは、複数の操作キーやスイッチを操作できる方のための操作方法です。(モード設定方法はP22をご覧ください)
- 5つの操作キーに、進む・戻る・選択・上の階層へ・クリアの機能を設定し、これらを使ってPeteのキー選択操作を行います。
- Pete10TKの初期設定では、操作キーは次のようになっています。

- ↓ : 選択する(フォーカスしている領域やキーを選択する)
- : 進む(次の領域やキーにフォーカスを移動する)
- ← : 戻る(前の領域やキーにフォーカスを移動する)
- ↑ : 上の階層へ(ひとつ上の階層のスキャンに戻る)
- 無変換: クリア(領域やキーの選択をすべて解除する)

<ひらがなキーボードでのマニュアルスキャンの例>

第1階層でのスキャン

第2階層(キーボードエリア)でのスキャン



6. マニュアルスキャンでの操作

6-2 スキャン操作キーの設定

- オートスキャン、マニュアルスキャンの操作キーを変更したい時は、Pete.exeと同じフォルダの中にある「settings.txt」を編集します。

```
#
#----- 5.Pete操作キーに関する設定
#
# 5-1 Pete操作に用いるハードキーの指定
# 1スイッチ入力の場合は「PressKey」に指定したキーが操作キーになります。
#
PressKey="F3"
#
PressKey2="F4"
PressKey3="F2"
PressKey4="F1"
PressKey5="F11"
```

PressKey="F3"	←	ここで指定したキーが「選択」のキーになります。 (オートスキャン、マニュアルスキャン共通)
PressKey2="F4"	←	「進む」キー (マニュアルスキャン用)
PressKey3="F2"	←	「戻る」キー (マニュアルスキャン用)
PressKey4="F1"	←	「上の階層へ」キー (マニュアルスキャン用)
PressKey5="F11"	←	「クリア」キー (マニュアルスキャン用)

7. Peteブラウザ

7-1 Peteブラウザとは

- Peteブラウザは、オートスキャン、マニュアルスキャンで利用しやすい機能を備えた、Pete専用のウェブブラウザです。
- Win操作キーボード、ひらがなキーボード等にある「Pブラウザ」キーを選択すると、Peteブラウザが起動します。
- 画面左側に、スキャン操作で利用しやすい操作メニューがあり、これらを使ってウェブブラウジングを行います。

ブラウザエリア：通常のブラウザと同様に、ウェブページを表示します。



Peteブラウザ操作メニュー

スキャン操作では、この部分がスキャンの対象になります。

- スクロール(上、下、左、右) …… 表示中のページを上下左右に動かします。
- リンク …… 表示中のページにあるリンクを一覧表示します。
- 文字入力 …… 表示中のページにある入力欄を一覧表示します。
- 選択入力 …… 表示中のページにあるラジオボタンやチェックボックスを一覧表示します。
- ボタン …… 表示中のページにある操作ボタンを一覧表示します。
- URL予測 …… これまでの閲覧履歴から、次に見る可能性が高いページのリストを表示します。
- お気に入り …… 「お気に入り」登録したページの一覧を表示します。
- URLコピー …… 表示中のページのURLをコピーし、他のアプリ等に貼り付け可能にします。
- ブラウザ終了 …… Peteブラウザを終了し、Peteのメインメニューに戻ります。

7. Peteブラウザ

7-2 Peteブラウザの基本操作

- 操作メニューの「リンク」を選ぶと、表示しているページにあるハイパーリンクをリストアップし、スキャンします。希望のリンクを選択すると、リンク先ページが表示されます。
- 操作メニューの「文字入力」を選ぶと、表示しているページの入力欄を選んで入力ができます。

操作メニューの「リンク」を選ぶと、ここに、表示ページにあるリンクの一覧を表示します。



操作メニューの「文字入力」を選ぶと、表示ページにある入力欄にアクセスできます。



文字入力の際には、Peteのひらがなキーボードが自動的に表示されます。



8. Peteトレイ

8-1 Peteトレイの操作

- Peteトレイは、Peteを使う時は常に起動しておいてください。起動中は、タスクトレイ右側の「通知領域」にPeteのアイコンが表示されます。

起動中は、タスクトレイ右側の「通知領域」にPeteのアイコンが表示されます。

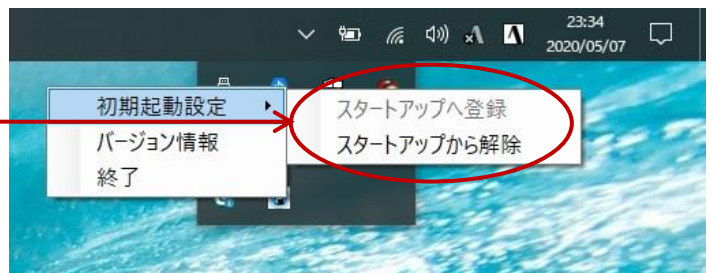


通知領域のアイコンを右クリックすると、Peteトレイのメニューを表示します。

- 初期起動設定: スタートアップへの登録や削除を行います。
- バージョン情報: Peteトレイのバージョンを表示します。
- 終了: Peteトレイを終了します。



「初期起動設定」にフォーカスを当てると選択可能なメニューが表示されます。必要な操作を選んでください。

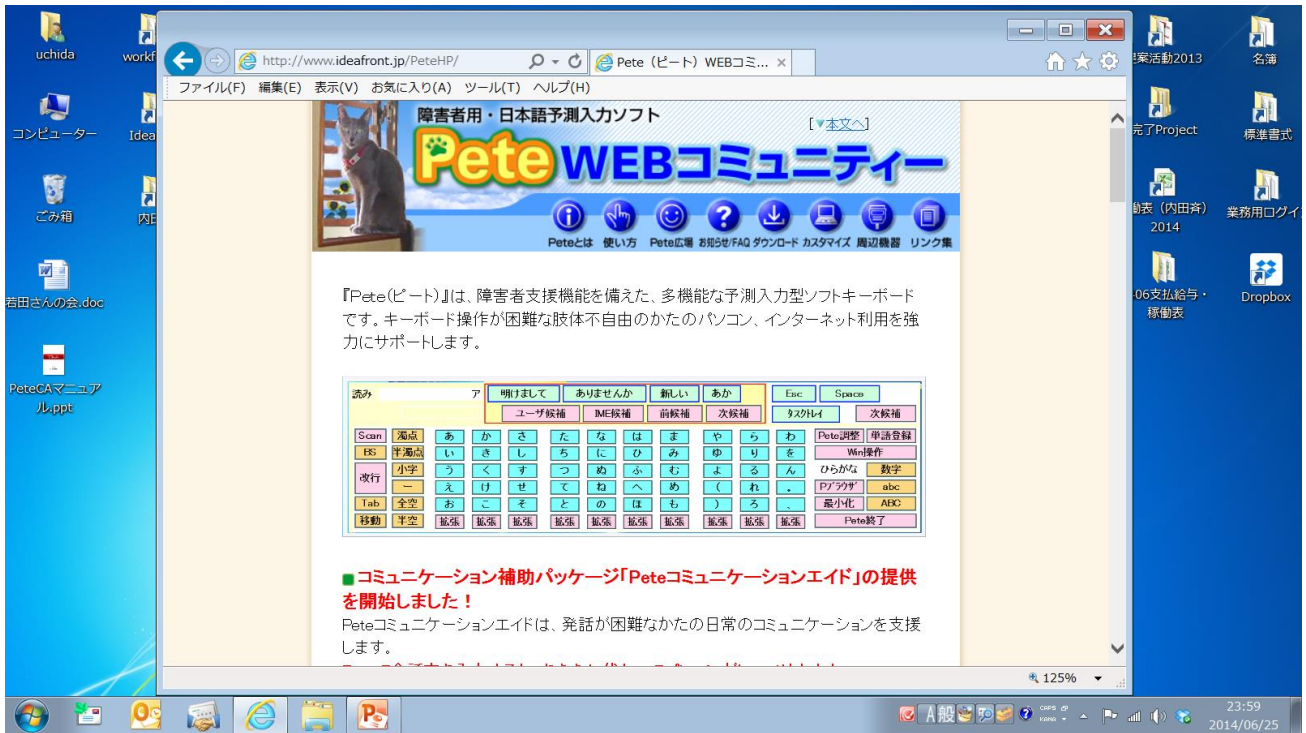


9. Peteに関する問い合わせ

Peteに関する情報、シェアウェア版Peteのダウンロードは、「Peteウェブコミュニティ」でご提供しています。

<http://www.ideafront.jp/PeteHP/>

※ シェアウェア版Peteは、会話支援機能・メッセージ機能がありませんが、2週間、無料でお試しいただけます。Peteの導入を検討される際にご利用ください。



Peteに関するお問い合わせは、以下までお願いいたします。

イデア・フロント株式会社（担当：内田）

TEL 03-6280-8014

Mail at_dp@ideafront.jp